

第百九十八回国会における河野外務大臣の外交演説（平成 31 年 1 月 28 日）

＜抜粋＞

日本で高等教育を受けても英語ができるようにならないことが、国際機関だけでなく、日本人が様々な場面で活躍する際の障壁となっています。美しい日本語か英語かの選択ではありません。どちらも必要です。英語教育の抜本的な改革は急務です。文科省と連携していきます。